
小さなノアの手

樋浦蓮斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小さなノアの手

【Nコード】

N85640

【作者名】

樋浦蓮斗

【あらすじ】

娘が産まれるまでの事です。

少し心があつたかくなると思います。

2007年7月19日僕たちは結婚した。

本当は7が3つ揃う17日が良かったのだが、大安じゃないと周りに反対された。

彼女のお腹には既に新しい命が宿っていた。

断っておくが、出来ちゃった結婚ではない。

結婚が決まってから出来た赤ちゃんだった。

文章で書くのは簡単だが、当時は初めての事で、出産まではホントにドキドキした。

無事に産まれて来てくれればそれでよかった。

彼女がお腹が痛いと言うと、夜中でも病院へ行った。

予定日は2008年2月18日だった。

1月31日、お腹が痛いと言うのでまた病院へ行った。

…そしてそのまま彼女は入院した。

1人で帰る車の中は不安だらけだった。先生の話だと、明日には薬を使って産ませるとの事。

まだ2週間程あった余裕は、一気に焦りに変わった。

夜になると病院と彼女からの電話。

薬を使う前にもう陣痛が来たらしい。

明日まであった余裕はもう完全に無くなった。

午前4時僕は車を走らせた。

陣痛の痛みから苦しむ彼女。

何もできず隣にいる僕。

…午前7時20分

分娩室に移った。

看護師さんが先生を呼びに行った。

『オンギヤー、オンギヤー』

先生を呼びにいつている間に娘は産まれた。

その時何故か僕は泣いていた。

悲しいわけじゃないのに。

… 凄く嬉しくて、だけど嬉しいって感情だけじゃない、何かで…

僕達は、この子が誰からも愛されるように乃愛と名付けた。

（後書き）

産まれた時は2110gの彼女も、もうすぐ3歳になります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8564o/>

小さなノアの手

2010年11月12日01時09分発行